

苦小牧市医師会
医師

山本 一男

良性発作性頭位眩暈症

今回はめまいのお話をします。耳鼻咽喉科で扱うめまいというと、皆様はまずメニエール病を思い浮かべるでしょう。単にめまいが現れただけでメニエール病と考える方がいますが、この病気はめまいと前後して耳鳴りや難聴が伴うこと、そのほかめまい検査や聴力検査をしていくつかの条件を満たした場合のみ、メニエール病と診断され

頭を動かすとめまいする

ます。従ってめまいを起こす病気の中では割合少ないものです。

それに比べて良性発作性頭位眩暈症は、かなり多くみられます。この長たらしい病気はどんな特徴があるのでしょうか。まず、頭を特定の位置にするとぐるぐる回るめまいが発作的に現れるということです。人によつてめまい頭位はいろいろです。

朝、起き上がった時とか、寝返りした時、上を向いたり、しゃがんだりした時などです。この回転性のめまいが続いている時間はあまり長くはなく、一分以内でおさまる例がほとんどです。そしてメニエール病と違ってめまい発作の際、耳鳴り、難聴は随伴しません。

四十歳から七十歳くらいまでの中・高年の人に起きやすく、原因はさまざまの説がありますが、一般的には内耳の年齢変化による部分障害とされています。

この病気の治療としてはまず、頭位によるめまい発作がひん発する時は、いつもよりゆつくりと頭を動かすことです。また、めまい止めの注射（メイロンなど）、血行改善剤、安定剤なども有効です。通常、一―二カ

月で治る例が大半です。

気をつけなければならないことは、悪性発作性頭位眩暈症という病気もあるということです。この疾患は、小脳や脳幹の障害によるものであり、良性のものとは異なり、めまいに頭痛や嘔吐（おうと）を伴うことが多いとされています。

中・高年の方で頭を動かすとめまいがする場合は、めまい検査や聴力検査を行っている専門医の受診をお勧めします。

お問合せは、苦小牧市医師会

電話 33-4720へ